

奇蹟的に進出の跡を覆りて、社会民衆黨福岡支部聯合會と協力し、伊藤會長と送り亀井代議士、横大路八幡市議長の右後を求め、和田忠一郎君と立候補せしめ、坑夫組合活動員の決死的闘争も官権の弾圧も全権の買収も、他の無産政党候補と違つて下位に引き高し乍ら惜敗したが、次の改選に於ける必勝と期する決意と益々強きところ。

八、日常政治闘争と議會闘争

資本主義最後の危機は独り劣劣階級の力から全國民の生活を根本的に破壊し、生活窮乏のどん底に陥つた中小高工業者、農漁村の中小自作農、地主階級の一番、全權政治打破、既成政黨排撃を叫んで劣劣階級の打倒資本主義政治闘争へ追従して来た。此等は社會大衆黨と協力し、折衝代議士を通じて、聯合會の綱領、主張を實現す以外に多額金と相違、特に非常時進取の第三次臨時議會へ失業絶對反対、農村救済の全口百萬の調印請願運動に参加し、農村に選挙に、工場に、街頭に、劣劣階級の要求と代表する聯合會の主張と強力に帝口議會へ反響させた。

更らば地方議會に於ては、伊藤會長と福岡縣會に送つて、失業救済の即時徹

底化、漁農民、中小高工業者の緊急救済、無産農民負担軽減その他一切の無産階級の要求も聯合會の主張と縣會へ力強く反響させ、資本家地主のグロワラを戦慄せしめてゐる。非常時進取の臨時縣會に臨んでは、縣下五萬、署名調印書を集めて、聯合會所持の立場に於ける非常時緊急対策を縣會へ持ちこた、無産農民の全要求も聯合會の主張の統一し、大衆的圧力と以て地方議會と捲席してゐる。

その他、撫順炭内地移入に依り小炭坑の没落と坑夫大衆的失業に絡んで筑豊小炭坑主の聯合會、反動の権化とまで稱せられてゐる互助會の撫順炭移入反対の運動起すや、去就を迷つて何事施す術を知らず、呆然拱手してゐる他の無産団体と尻目に、日本石炭坑夫組合を先頭に決然とつて飯塚、中間に坑夫大會を用ひ、毅然たる聯合會の対策と天下を示し、筑豊金山の坑夫大衆の圧倒的支持を受けて大會決議は大會で選任せられた実行委員亀井貞一郎君、久保時造君が上京し関係各者大臣、長官に提出され、坑夫の失業を完全に喰ひ止めることが出来た。又健全なる劣劣組合主義の之前から、社会民衆黨のフアツリ派を露算し、聯合會所屬の腐蝕分子を断固處分し、社会民衆黨中口九州協議會と協力して